

実りの秋に想う!!



み みんなの期待を裏切る政治家が何と多いことか。にっぽん大丈夫かと言いたくなる。平成に入り竹下・宇野・海部・宮沢・細川・羽田・村山・橋本・小渕・森・小泉・安倍・福田・麻生総理大臣と14人。アメリカはレーガン・ブッシュ・クリントン・ブッシュ大統領と4人。実りのある政治をするには、日本は余りにも短命で実らないうちに交替する…。これでは、私たちは安心して暮らせない。

の 農業の将来に未来が描けないのも、トップがコロコロ代わることや最近では農林大臣が1年間に4人（松岡・赤城・遠藤・若林）も代わるという前代未聞の醜態があり、農家に実りのある政策など考える時間など無いのが当たり前だ！この事は何も農業問題

だけでなく、景気・医療・福祉、外交、拉致問題等と私たちの生活に直結している。

り 理念と信念を持ち合わせた強力なリーダーが今の日本に必要な…。今の政治家は小粒だと言われる中で、自民党の総裁選挙で敗れること3度、4回目の挑戦でつかんだ59人目の総理大臣麻生太郎は、吉田茂元首相の孫に当り、自分を称して「生まれはいいが育ちは悪い」という。べらんめい調で毒舌の多い92代麻生総理大臣に、日本を実りある国にしてもらいたいと期待する。

の 農業情勢や日本経済は、厳しく将来が見い出せなくとも、秋の刈り取り・豊作・実りは、私たち百姓に新たな別の喜びを与えてくれる。「国の基は農なり」のことわざがあるように、農業をおろそかにしている先進国はないが、日本の食糧自給率は40%、こんなに食糧自給率が低い先進国は無い。今世紀地球の人口が増大し「食糧略奪戦争」が勃発するとも言われている中で、自給率の向上は地球規模での命題だ…。

あ 後を絶たない食品偽装問題。ついに本丸の米までがと言いたくなる。消費者をだましていたことは許せない。このように次から次へと食品偽装事件が発生することは、国の怠慢であることは明白だ。小泉政権の規制緩和の落とし子が、命をつなぐ「食」にこういう形で発生してきた。

き 来るべき衆議院選挙は麻生総理の手の内だが…自民党、民主党、どの党が日本の将来を实り多くしてくれるのか、私たちはしっかりと見極めなければならない。そして、ここ5区の選挙区は、過去の栄光の人ではなく、これからの明日の日本・明日の魚沼のことを考えてくれる若い人を私は応援したい…。



実りの秋

★ホットな
いい話(市長所信
表明より)

・「小千谷縮越後上布」がユネスコ
の無形文化遺産候補として日
本の代表にあがる。
・FIVB(国際バレーボール連
盟)直轄のバレーボールトレ
ニングセンターが当市の「上の
原高原体育館」に決まる。

9月議会(19年度決算審議が中心～会期は2日から18日)

9月定例議会は、決算議会とも言われ執行部と熱い論戦が戦われた。議会が決定した予算が市民のために適正に執行されているかという視点で審査する。

一般会計決算は約278億円で4億5千万円の黒字、8件の特別会計は621億円で14億円の赤字。赤字は水道会計と病院会計で不足額は内部留保資金で充当している。

約600億円の財布に1000億円の借金があり、実質公債費比率は23.5%で、県下ワースト1の財政状況は変わりません。

財政健全化計画2年目にあたる当年度は、経常経費の節減、投資的経費の抑制および歳入確保を重点に、少子化対策、教育関連施設整備に重点配分をし、おおむね計画に沿った執行がなされその成果も認められる。大きな課題は税金の滞納者が3、801人、18億8千万円ある。うち固定資産税が11億3千万円(1、891人)となっており、市民の公平および自主財源確保のために解消に向けて努力しなくてはならない。

● 一 般 質 問 ●

議会初日の前夜、9月1日福田総理は突然自ら総理大臣の辞任を表明し、日本列島はおおきな驚きと衝撃が広がった。

今の政局は前に出るも後に戻るも将来展望が開けない。福田総理は国民生活の安定と日本国のために、そして将来展望を開くために、椅子にしがみつくとなく、自らが悪者になることを承知で、総理大臣の辞任という道を決断した。私はそこに偉大な政治家を見る思いがした。リーダーは強い意志と信念、そして将来を見据えた眼力なくしてトップはつとまらないと思った。

それでは、通告いたしました2点について質問いたします。

4年間の総括と2期目に向けて

所信表明の中で、市長は1期4年間の市政を、おおむね順調にすすめることができた。そして、今後も「地域完結型社会」の実現のために、どんな困難があろうとも、諦めず、怯まずに全身全霊を傾けて努力すると、2期目に強い意欲をしめしている。

1期4年間は、六日町と大和町の合併そして塩沢との合併、実質公債費比率県下ワースト1である財政健全化問題、病院問題、旧福祉センター事件と休む間もない多忙な毎日であった。その多くの課題、難題を「決断と実行」で対応してきた。

市長、4年間の市政を自ら自己評価し、点数をつけ



市役所本庁舎

るとしたら100点満点で何点ですか。

①病院問題を含む保健・医療・福祉、②学力向上、学区再編問題等の教育・文化、③ゴミ焼却等の環境共生、④道路、上下水道等の都市基盤整備、⑤農業、観光、商業、工業の産業振興、⑥行財政改革、の6項目についての自己採点と⑦総合的には100点満点で何点ですか。

2期目に向けて2点伺う。

産業が発展しなくては、市民の生活、懐は良くならない。市民から聞こえてくるのは、国の政策も悪いし景気も悪い。スキー産業は右肩下がり、合併で良くなると期待していたがと愚痴ばかり。

しかし、大河ドラマ天地人の放映による観光客の増大には、大いに期待し、「天地人」をスタートとし今後につなげなければと誰もが必死だ。

当市は何と言っても観光事業で交流人口を増やすことが一番大切だ。そのための戦略は、いろいろの意見や考えがありますが、南魚沼市はNHKから日本の原風景と言われた。この自然を生かした交流人口の拡大「田舎暮らし・二地域居住」の推進です。

旅行も旧来型の物見遊山の周遊型・観光施設の観光、名所・旧跡の金銭消費型で一見豪華の観光は終息し、これからは生活の臭いのする滞在型で、地域での体験・交流・学習と手軽な割安な観光にすすむとJTBも言っている。

南魚沼市はこの「田舎暮らし」を基本とした、観光客誘致に再構築すべきと思うが、市長の考えを伺います。

次に市の基幹産業である農業、コシヒカリについてです。

去る7月22日にある会議で、コシヒカリ（新潟一般19年産米）ななつぼし（北海道19年産米）おぼろづき（北海道19年産米）の三品種を食べ比べをいたしました。参加者は大学の関係者、ジャーナリスト、生産者、農協関係者十数名です。余りの結果に事務局は大事をとって明細は講評しませんでした。コシヒカリがダントツで美味かったという結果ではありませんでした。

温暖化現象により、米の生産適地は東北等に移動していることは、市長も承知のことと思います。他の産地は魚沼に追いつけ追い越せという事で、産官民学をあげて取組んでおる。このままでは10年後いや5年後に、魚沼コシヒカリは普通の米になっていたという事

7月13日 毘沙門堂学習会



トピックス



7月18日 国体リハーサル大会視察

7月20日 浦佐夏まつり



8月10日 夏休み子ども体験「一日一休さん」

態になるが、コシヒカリの生産・販売戦略について市長はどのように考えているか伺う。

〈市長答弁〉

- 政治家は「棺をおうてから」という言葉があるように、今何点くらいだという自己評価はいたしません。今良いと思った施策でも後年にダメダと言うこともありますし、その逆もあるので。
- 農業体験等の交流滞在型の需要が伸びてきており、グリーンツーリズム協議会が中心になって、観光交流人口を増やすべく、「天地人」の放映と併せて再構築する。
- J Aでは現在20年産米について米が不足というほど販売が好調だ。より高品質・高食味の米の生産のために「魚沼米憲章」を確実に実践することが大切。そして、魚沼コシヒカリにあぐらをかくことの無いように他産地米と試食会をする。



北里学院

定員割れ等で専門学校の閉鎖が相次いでいるのが現状だ。当学院も時代の波の中で、定員割れが生じれば、学科の閉鎖や学院そのものの閉鎖という事だっておりえるのではないだろうか。

現在の北里学院は国家試験100%取得をモットーに授業を行っており、学生も頑張り、国家試験の合格率は4年生大学よりも高く、全国平均を超える高い合格率ですので、北里学院は競争率も高く定員割れは生じておらない。

北里学院は25周年を記念して学生食堂・北里ガーデンを新築した。この食堂は、管理栄養科の特色を生かした「食育の」発信基地として、地域に根ざした食堂を目指しており、地域にも開放しており新たな展開を図っている。しかし、少子化、大学の専門学校化の影響で、ここ数年の志願者数は確実に減少している。このままでは定員割れをおこし最悪のシナリオも考えられる。

今後の南魚沼市の「学園都市構想」「健康ビジネス構想」「メデカルタウン構想」そして基幹病院を核としたまちづくりに、北里大学保健衛生専門学院の存在無くしては考えられないが市長の考えを伺います。

学園都市構想・北里大学保健衛生専門学院について

昨年国際大学と北里大学保健衛生専門学院は設立25周年を迎え記念事業が行なわれた。市は国際大学とは包括協定を結び、さまざまな分野で連携・協力を推進することとし小中学校での取組みがスタートした。

北里大学保健衛生専門学院は、学生が941名、702名がアパートに入居しており、県外からの学生は約半数。長野県が116名、北海道東北が155名、関東が117名、北陸が23名、その他が35名でその中には沖縄・鹿児島からの学生もあり、13県を除く全都道府県から、学生がこの南魚沼市で学んでいる。

今年の市立大学925校(短大含む)の半数は定員割れですが、有名校は志願者が増えておる。少子化による「大学全入時代」を目前に、小中規模の私立大を中心に淘汰の時代をむかえている。

専門学校は少子化の中でも就職率の高さから検討してきたが、就職状況の変化や、大学の「専門学校化」の影響で、平成16年度から入学者は減り続けている。全国的に専門学校の役割は終わったと言われ、

〈市長答弁〉

北里大学保健衛生専門学院は基幹病院・学園都市のまちづくりには中心的な存在で、この9/26には包括協定を結び、更なる連携を図っていく。

定員割れにならないように、市としても県内の高校にPRを含めできる限りの支援・協力は惜しまない。そして北里学院、国際大学、県とも協議し、新たな産業の創出(医学部系の大学等)も視野にいれたい。

8月24日「後援会」夏季研修会



9月14日 浦佐地区敬老会

9月15日 浦佐城址森林整備



9月20日 毘沙門堂「梵鐘の会」設立総会

行政視察
7月8・9日

★不登校児童・生徒のための学校（八王子市）

人口54万人「住宅都市」「学園都市」として発展しており、市内には21の大学・短大があり、約11万人の学生が通っている。このように望まれた環境でも、小学・中学生で学校に行かれない生徒が多数（500人）おり、その子ども達が安心して通える学校として、平成16年に「高尾山学園」を開校する。児童生徒は100名前後で、授業の様子や学校経営について校長先生から話を聞く。ここでの多くの取組みは、当市でも参考になることが多くあると思った。



高尾山学園視察

★小学校1年から英語で授業（太田市）

人口22万人、北関東屈指の製造品出荷額を誇る「工業都市」として発展しており、英語を自由に使える人材、真の国際人の育成は地域の要請であった。画期的な英語教育を展開したいということで、平成15年4月21日に特区第1号として認定される。今年で4年目で、今年から中等部（中学1年生）がスタートした。生徒は1学年90名3クラス。初等部の授業数は2割増し、小学生で英検2級、準2級を取得している。大学進学への目標はセンター試験900点満点の85%、765点としている。太田市は英語だけでなく、スポーツ、芸能文化と子ども達の得意の分野を伸ばすために、英語と同じく力を入れており、その教室からオリンピック選手も育っている。

政務調査
10月2・3・4日

★財政健全化に向けた取組み（石狩市）

石狩市は人口61,347人、一般会計282億円と当市とほぼ同じ規模。担当の行財政改革担当参事さんより、「財政再建計画」「集中改革プラン」「行政改革大綱」について説明を受ける。実質公債費比率は19.9%と当市の23.4%よりも良いにも係わらず、その取組みはきめ細かく、かつ厳しく取組んでいるようすが伺えた。財政再建計画では年度ごとに、具体的な取組み内容と効果額を、同じように行政改革大綱は別冊で実施計画を作成しており必死の取組みが伝わってきた。

★北海道産米の生産と販売戦略（ホクレン・道中央会）

視察研修をし、直感的に新潟に替わる日もそう遠くないのではないかと危機感を持った。それは、平成9年度から全道単位で高品質米仕分け集荷に取組んでいる。36万ト（集荷量の90%）がカントリーエレベーター等の大型米穀集出荷施設に保管。その施設は乾燥調整保管が主目的でなく、製品出荷施設として機能している。又、平均米作付け面積は6畝、米の10%当り生産費も全国の7割。そして、産官民学の4者の取組み。新品種開発に農家も拠出しており、昭和63年きらら397、平成8年にほしのゆめ、13年になつぼし、15年にふっくりんこ、17年におぼろづき、20年にゆめぴりか、何か米作りにロマンを感じるようだ。魚沼コシヒカリが危ないと思ったのは私だけだろうか…。



ホクレン・北海道中央会視察

関常幸後援会からのお知らせ

「市政報告会・忘年会の集い」

市会議員として送り出し、早いもので3年が経ちました。議員は地域の活性化のために、まめに元気に毎日飛び回っております。これも日頃の皆様の大きなご支援のおかげです。感謝申し上げます。

つきましては、一年の総括として「市政報告会および忘年会」を下記により計画いたしました。

と き：12月7日(日)

と ころ：新浦佐温泉「たもん荘」

会 費：3,500円

●申し込みは各町内の世話人の方へお願いの予定です。

●浦佐地区外の方の申し込みおよび詳しいことは

「関常幸後援会」電話777-2245までご連絡ください。

●編集後記●

浦佐小学校6年生が、9月20日ビッグスワンススタジアムで開かれた30人31脚新潟大会で二連覇を果たしました。優勝おめでとう。全国大会は11月16日に横浜アリーナで開催されます。皆さん応援いたしましょう。

10月5日、東地区に熊が出没し人間に危害を与え大変なことになりました。これからキノコ採り等で山に入る機会が多くなりますが、一人では絶対に行かないようにし、鳴り物をつけて行きましょう。

- ・初孫を そっと抱く手に 力みがち
- ・初孫に 夫婦喧嘩も 忘れがち

(常ノイ)